



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 83》2020年1月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～  
【姫島村/日出町】



(姫島村)  
姫島村の景観



(姫島村)  
拍子水



(日出町)  
二階堂美術館



(日出町)  
的山荘

## 海外大分県関係の皆さまへ新春のご挨拶

### 新年明けましておめでとうございます

昨年は、ラグビーワールドカップ2019が開催され、本県でも準々決勝2試合を含む5試合が行われ、延べ17万3千人がスタジアムで試合を観戦しました。ベスト4に勝ち進んだイングランド、ニュージーランド、ウェールズ、南アフリカのうち、南アフリカを除く3チームが本県で試合を行い、まさに目の前で世界最高レベルのプレーを観戦することができました。また、県内各地で来県チームや海外観戦者を温かく迎えるイベントが開催され、小学生や県民がアンセム(国歌)を合唱し記念撮影をするなどの交流を行いました。特に中高生はラグビー交流や学校交流にとどまらず、ファンゾーンや観光地などで外国人の輪に飛び込み、ガイドに挑戦するなど積極的に海外観光客との交流を行いました。

観光面では、じゃらん宿泊旅行調査2019で「旅行後の来訪者の総合的な満足度」が初めて全国1位となりました。また、観光庁の2018年の統計調査によると、初めて外国人宿泊者数が140万人を超え、県全体の宿泊者数も777万人となり過去最多を記録しました。

今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。本県でも4/24、25に聖火リレーが県内各地を回り、オリンピック機運が醸成されてくると思います。また、ポルトガル、フィジー、モンゴル、マレーシア、ラオスなどのオリパラ代表選手が来県し、事前キャンプが行われる予定です。ラグビーワールドカップでの交流の経験を生かして、県民をあげておもてなしいたいと思います。

海外へ向けての情報発信もしっかり行ってまいりますので、故郷大分の発展のため、皆さま方にはなお一層のお力添えを賜いますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって素晴らしい年になるとともに、一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新春のごあいさつといたします。



大分県企画振興部長  
中島 英司  
(NAKASHIMA Eiji)

# 2019の県政10大ニュース



## 1 「ラグビーワールドカップ2019」大分開催 ～ラグビーを通じて世界とつながる～

- 大分開催5試合で、国内外から訪れた延べ17万3千人が観戦
- 延べ10チームが大分県でキャンプを実施、来県チームと県民が交流
- 大会公式ボランティア約1,350人参加、県民が観戦客をおもてなし
- おおいた和牛の串焼き、まぐろステーキ、大分県産フィッシュ&チップスが海外からの来県者に好評

## 2 「旅行者の満足度」全国1位 ～宿泊施設、おもてなし等が高評価～

- じゃらん宿泊旅行調査2019の「旅行後の来訪者の総合的な満足度」で初の全国1位
- 平成30年宿泊旅行統計調査(観光庁)で、県内の外国人宿泊者数が初めて140万人を突破(144万人)、県全体の宿泊者数(777万人)ともに過去最多を記録
- 大分空港国際線旅客ターミナルビル拡張工事完了、大分空港道路4車線化延伸区間(4工区)開通
- 別府港の陸路と海路の結節点としての機能強化に向け、「別府港再編計画」決定

## 3 「久住高原農業高校」開校・「くじゅうアグリ創生塾」開講 ～5年ぶりの農業高校開校～

- 県内唯一の農業単科校「久住高原農業高校」開校
- 農業系高校生の宿泊型研修拠点「くじゅうアグリ創生塾」での学び合いスタート
- 大分・香川両県水産系高校の共同運航実習船「翔洋丸」竣工・共同運航開始

## 4 高校生遠隔講座 スタンフォード大学チームとの連携合意 ～先端技術への挑戦～

- スタンフォード大学チームと遠隔教育プログラムについて合意、高校生遠隔講座「Stanford e-Oita」開講
- 世界的なソフトウェア企業SAPと災害対策・人材育成分野での協力に合意
- 「第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム」の開催が決定
- 大分県版第4次産業革命「OITA4.0」の取組を加速させるため、産学官で構成する「先端技術挑戦協議会」設立
- 先端技術を活用し移動課題の解決を図るため「次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会」を設置

## 5 「大分県立武道スポーツセンター(昭和電工武道スポーツセンター)」完成

～日本最大級のスギ無垢材屋根構造～

- スギの無垢材を使った屋根構造としては国内最大級の屋内スポーツ拠点が開館
- ゴールデンウィーク県民無料開放には約2万人が来場、開館半年で約13万4千人が利用

## 6 大分トリニータ、J1で活躍 ～スポーツ分野で様々な活躍目立つ～

- 大分トリニータ、昇格1年目ながら9位でシーズン終了、片野坂監督、5期目の続投決定
- 中西麻耶選手、ドバイ世界パラ陸上選手権金メダル 最後の跳躍で東京パラリンピック代表掴む
- 第39回大分国際車いすマラソン女子の部で、マニユエラ・シャー選手が世界新記録で優勝、喜納翼選手が日本記録で準優勝
- バサジィ大分躍進、終盤まで優勝争い

## 7 「第10回日本ジオパーク全国大会2019 おおいた大会」開催 ～少年少女ジオガイドも活躍～

- 姫島、豊後大野などに、県内外から延べ5,000人を超える参加者
- 小中高生によるジオサイト紹介・活動発表(27本)、ジオツアー(13本)に高評価
- 全国全ての44ジオパークが参加、初企画のジオパークパビリオンも大人気

## 8 農林水産物の輸出額 過去最高24.6億円を記録 ～農林水産物の輸出に弾み～

- 農林水産物の平成30年度 輸出額が過去最高額の24.6億円
- ㈱大分畜産公社が対米国・カナダ・香港・豪州・シンガポール輸出食肉を取り扱う「と畜場及び食肉処理場」に認定
- 国内唯一のEU 向け生食用生鮮クロマグロの輸出が軌道に
- 全国乾椎茸品評会の団体の部で21年連続53回目の団体優勝
- 大分青果センター 開所(JA 全農おおいた) ～九州の農産物物流拠点へ期待～

## 9 移住者数 過去最多1,128人を記録 ～大分県UIJターン人気～

- 平成30年度の県外からの移住者数が1,128人となり、昨年に続いて過去最多を記録
- 企業誘致好調、過去最多の55件
- 佐伯市宇目に、姫島に続くサテライトオフィスを整備
- 若者のUIJターンを支援する大分県の拠点施設(福岡市中心部)の名称が決定「dot.(ドット)」

## 10 大分川ダム本体完成 ～強靱な県土づくり進む～

- 大分川ダム(ななせダム)本体工事完成、玉来ダム定礎式開催
- 県内の防災土登録が1万人突破、おおいた防災アプリ運用開始、新防災センター完成、防災モニター運用開始
- 地域高規格道路 中九州横断道路朝地IC～竹田IC開通、竹田IC～波野IC(仮称)新規事業化、地域高規格道路 中津日田道路中津IC～田口IC開通
- 東九州自動車道の4車線化が進展(宇佐IC～佐伯IC区間 10.6km)

## 新たに2名をめじろん海外サポーターに任命

12/11に中国出身の留学卒業生2名をめじろん海外サポーターに任命しました！

辛樹玲さんは、2008年に日本文理大学を卒業した後、県内の旅行会社に勤務し、14年には中和国際株式会社を設立し、大分市と連携し武漢市からの農業研修生の受入や主に中国からの旅行者の手配を行ってきました。18年からはより積極的に中国観光客を大分県に受入れるため、インバウンド事業開発部門を設け、県への観光客誘致に積極的に取り組んでいます。



辛樹玲さん(左)と常文静さん

常文静さんは、2009年に立命館アジア太平洋大学を卒業した後、県内で日本語教師として勤務しました。18年には辛さんが経営する中和国際に入社し、インバウンド事業開発担当として活動しています。

また、お二人は、県の災害時通訳ボランティアにも登録し、県の取組にも協力してくれています。

このように留学卒業生の中には、自ら起業し、そのビジネス活動により本県の知名度向上に貢献してくれている人がいます。今後もめじろん海外サポーターに任命した方々と連携し県内経済の活性化につなげていきたいと思えます。

## 第2回&第3回アジアビジネス研究会開催

12月9日に、今年度第2回となるアジアビジネス研究会をジェットロ大分貿易情報センターと共同で開催しました。当日は、前クアラルンプール事務所次長で、現在ジェットロ大分貿易情報センターの馬場所長からマレーシアの政治経済概況について、クアラルンプール事務所の石橋コーディネーターから「日本人ビジネスパーソンのためのマレーシア入門」として講演していただきました。セミナー後には、交流会も開催され、参加者間で親睦を深めました。

また、2日後の12月11日には、第3回として、カンボジアをテーマにセミナーを開催し、ポンペン事務所の宮尾所長、山口コーディネーターから、それぞれ「カンボジアの概況・食品輸出市場」、「カンボジアビジネスの可能性」と題して講演していただきました。



参加者は熱心に聴講し、「カンボジアの電力事情はどうなのか」等積極的な質問がありました。

また、講演後には、カンボジア進出に興味がある企業を対象に、個別相談会も開催されました。

## 市町村からのお知らせ【姫島村】

### 〈時と自然の希跡ジオパーク天一根(あまのひとつね)〉

おおいた姫島ジオパークの魅力を、多くの皆様に知ってもらうために作られた施設です。時と自然が作り上げた希少な跡がジオパークの原点です。



### 〈おおいた姫島ジオパーク「姫島一周ジオクルーズ」〉

年に数回行われている、島を1周するジオクルーズは、おおいた姫島ジオパークの海域を活かした新たな楽しみ方の一つであり、様々な角度から姫島の姿を見ることで、島の地形の地質の成り立ちを学ぶことができます。

陸上からアクセスしにくい海岸線沿いには、海鳥が翼を休める様子や、海的作用による地形の数々が見られるとともに、溶岩からなる岩肌や大規模な地層の褶曲構造などが観察され、島ならではの楽しみ方で、おおいた姫島ジオパークを体験できます。





**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（12月）

News

## 【9日(月)】県オリジナル品種のいちご「ベリーツ」が旬入り！

8年の歳月をかけ育成した県オリジナル品種のいちご「ベリーツ」の旬入り宣言式が、9日、大分市公設卸売市場で行われました。

正式名称は「大分6号」で、「スイーツみたいなストロベリー」から「ベリーツ」の商標名で生産拡大、ブランド化に取り組んでおり、いちごらしい鮮やかな色づきやシーズンを通じた糖度の高さ、大きな果実などが特徴です。

News

## 【10日(火)】高校生ラグビー 東明が初の全国へ

第99回全国高校ラグビー大会大分県予選の決勝戦が10日、豊後企画大分駄原球技場で開催され、大分東明高校が17-14で34連覇を目指した大分舞鶴高校を破り、初の全国大会出場を決めました。

全国大会は12月27日、大阪府の花園ラグビー場で開幕し、大分東明高校は1回戦の第2試合で、長野県代表の飯田高校と対戦し、見事初戦を突破しました。

News

## 【17日(火)】東京五輪聖火リレーランナー等決定

2020年東京五輪国内聖火リレーの詳細が17日に大会組織委員会から発表され、県内では2020年4月24・25の両日で全市町村を走ることがわかりました。県内170区間の主なランナーは以下のとおりですが、この他に44区間は公募などで選ばれる県民の方も走るようになります。

主なランナー…指原梨乃さん（タレント、大分市、27歳）、石丸謙二郎さん（俳優、大分市、66歳）、渡辺一平さん（水泳選手、津久見市、22歳）、岩尾幸美さん（ホッケー選手、九重町、43歳）、尾島春夫さん（スーパーボランティア、日出町、80歳）

※国際政策課にて新聞等を元に作成

## セーラ交流員が離任、めじろん海外サポーターに任命

2017年7月から県の国際交流員として勤務したセーラ・バックレイさん（イギリス出身）が昨年12月で離任するにあたり、「めじろん海外サポーター」に任命しました。



この2年半に渡る大分での生活はあっという間でした。JETプログラムを通して大分の沢山の魅力と大分県民の温かさを実感できたことをとても光栄に思います。

また、ラグビーワールドカップのような大規模なイベントに携わり、大分県が一番賑わった時期を経験できたことも一生思い出に残ります。

大分県を離れることははととても寂しく思いますが、大分県で出会った素敵な皆さんの優しさが私の大分での時間を素晴らしいものにしてくれました。感謝してもしきれません。大分はいつまでも第二の故郷として私の心に残りますので、これからも大分の魅力を世界に発信し続け、架け橋となれるよう頑張ります。



## 県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



国際交流員は県内の学校を訪問し、出身国の概要・文化などの紹介、交流活動を行う国際理解出前講座を実施しています。先日は第2外国語として韓国語の授業を取り入れている佐伯豊南高校にて出前講座を行いました。生徒たちは韓国語を勉強しているだけあって、韓国文化にも興味津々でクイズにも積極的に答えてくれました。



金 眞雅  
(Kim Jina)

1時間韓国文化を紹介するプレゼンを行った後、休憩時間を利用し先生が用意してくださった韓国の伝統衣装の韓服を生徒に着せたり、写真を撮ったりしました。そして、残りの1時間は韓国の伝統遊び「ユンノリ」を紹介し、みんなでやってみました。2時間が短く感じるくらい盛り上がり、生徒たちと楽しい時間を過ごすことができました。



クリスマス前の日曜日に、友人と毎年12月に別府で開催される「べっぷクリスマスファンタジア」に行ってきました。



シエ シンラン  
(Xie Xin Lan)

当日の昼間、ずっと雨が降り続いて、天気により中止になるかも知れないと心配しましたが、打ち上げの直前に雨が上がり、地面に溜まった水が鏡のように花火を映し出しました。

気温が低かったけれど、観客の中には若い家族が多く、寒さを忘れさせるほどほのぼのとした雰囲気になることができ、クリスマス前後の時期にピッタリだと思います。レンズで的ヶ浜公園と別府タワー方面にターゲットを絞ったら、きれいな花火の写真が何枚も撮れてうれしかったです。来年夏の「べっぷ火の海まつり」のことも楽しみにしています。



19日に立命館アジア太平洋大学（APU）で行われた台湾地域からの教育旅行交流は、これまでの内容と異なっていました。以前は高校や小学校との交流が多く、主に生徒間で行われていました。当日のセレモニーは校長先生の挨拶、記念品交換、記念撮影といったいつもの内容のほかに、津久見出身の竹工芸家小嶋力先生の別府竹工芸のデモンストレーションがありました。



ピョウ センテイ  
(Miao Zhanting)

小嶋先生の豊かな経験と熟練した技が若い学生達を大いに励ましてくださいました。また、アドミッションズ・オフィスの堺先生によるAPU紹介の後、台湾地域やタイ出身の大学生4名がそれぞれの大学生活などについて紹介し、キャンパスも案内してくれました。夕食後には、太鼓などの部活体験もありました。



休憩時間に台湾の校長先生達とおしゃべりする中で、「大陸のどこから来ましたか」と聞かれたり、校長先生が来週、鄭州大学へ出張することも分かりました。会話を通じて、中国への想いを共有できたことが、この日一番感動し、心を温かくしてくれました。

県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

### 話題提供のお願い！



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:藤原【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)